

事業概要シート

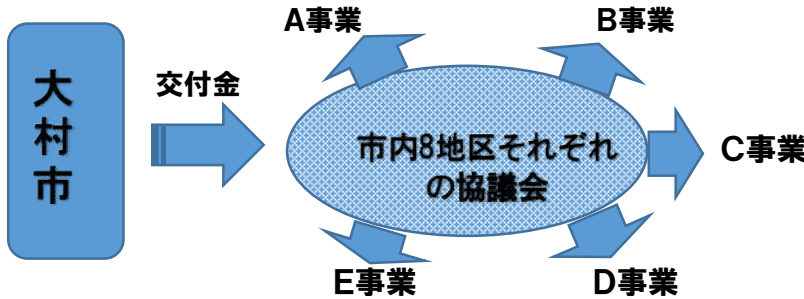
施策	2301	地域コミュニティの活性化	<<>>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	住民主導型地域活性化事業	その他の見直し	予算額 22,158 千円 << 24,183 >>千円
事業期間	平成29年度 ~ 令和7年度		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 2,000 千円 一般財源 20,158 千円
根拠法令要綱等	大村市地域げんき交付金交付要綱、なんでんかんでんチャレンジ40助成金交付要綱		

【事業の目的・概要・対象】

(地域げんき交付金)
 地域住民が自ら考え、自ら行う地域づくりの活動を支援するため、市内8地区の地域づくりを推進する団体へ交付する。なお、対象事業については、地域づくり組織が自主的に行う事業で、ある程度の裁量を地域に委ねたものとなっている。

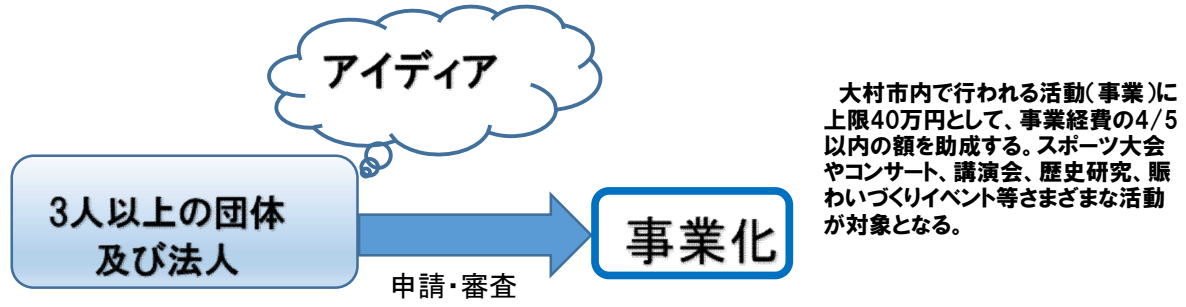
(なんでんかんでんチャレンジ40助成金)
 市民が企画する活気と魅力ある地域の実現のための事業を支援する、応募型の助成金である。3人以上の団体及び法人が対象で、大村市内での事業実施を条件とし、審査会の審査を経て、採択事業を決定する。

○地域げんき交付金



交付金額内であれば、ある程度自由に決定できるよう設定しており、市内8地区のそれぞれの協議会で、どのような事業を実施するのかを検討し事業決定を行っている。(※ただし、事業内容については要綱に沿った事業であることが条件となる。)

○なんでんかんでんチャレンジ40助成金



【背景】

地域のコミュニティは、コロナ禍の中で縮小傾向にあり、また、町内会未加入者が増えることによる地域のコミュニティの希薄化、衰退が続いている。

地域げんき交付金は、地域の課題は地域で解決するという趣旨で、ある程度自由に事業を検討できるものとなっており、各地区では課題の抽出から解決策の事業選定までを行い、その過程で地域のコミュニティを育てている。

地域住民の参加は多く、地域コミュニティの維持拡大に大いに効果が上がっている。また、各地区の地域活性化協議会や各地区町内会会長会からも継続要望も上がっている。

なんでんかんでんチャレンジ40助成金は、市民への周知も浸透しきっており、市民が考える活性化、賑わい等に係るアイデアを実現できる助成金として大変関心を集めている。参加者も多く、経済的、人的交流等市内の活性化事業として効果は高く、新しいコミュニティの誕生につながっている。

担当課	市民環境部 地域げんき課	課長	中村 浩樹
担当者	岸川 香織	問合せ先	0957-53-4111 (内185)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	各地区実績額（地域げんき交付金）	計画値	千円	22,049	20,000	20,000	20,000
②	申請件数（なんでんかんでんチャレンジ40助成金）	計画値	件	14	25	20	20

【成果指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	各地区事業額実施率（地域げんき交付金）	計画値	%	96.5	100	100	100
②	採択件数（なんでんかんでんチャレンジ40助成金）	計画値	件	5	8	8	8

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
事業費	18,649	24,193	24,183	22,158	22,158	22,158	133,499
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	1,878	2,000	3,800	2,000			9,678
一般財源	16,771	22,193	20,383	20,158	22,158	22,158	123,821
人件費	3,247	3,619	3,352	3,352	3,352	3,352	20,276
職員(人)	0.44人	0.49人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	2.73人
時間外勤務(h)	24h	28h	40h	40h	40h	40h	212h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	21,896	27,812	27,535	25,510	25,510	25,510	153,775

妥当性 (市の関与)	現状、各地域の事業については、地域げんき交付金を財源に実施しているものが大半を占めており、地域コミュニティの活性化には不可欠なものとなっている。なんでんかんでんチャレンジ40助成金についても、市民活動を支援するために創設された助成金であるため、市の関与は不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	地域コミュニティの活性化や、市民協働の実現のために、それぞれで実施されている事業は重要なものとなっており、市民参加者数も増加傾向にあり、大いに効果があるものである。
効率性 (コスト)	地域げんき交付金については、住民自ら地域課題の解決のために取り組むことで、住民の交流、地域活性化につながる事業を実施しており、地域に深く根付いた事業として、継続を望む声強い事業である。また、なんでんかんでんチャレンジ助成金40助成金は、行政が着手できないような事業をこの助成金を活用し市民等が自ら実施しており、大村市全体の活力向上につながっている。市民等からの継続の要望が強い事業であるため、それぞれ現状維持が望ましい。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価記載のとおり